

中世の松浦 (69) 鷹島海底遺跡

9月24日、鷹島埋蔵文化財センターで「国史跡鷹島神崎遺跡について」鷹島海底遺跡出土遺物の保存処理について」の研修が開催され、アジア太平洋地域の15カ国の文化遺産の保護を担当している研究者が集まりました。

この研修は、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所が、アジア太平洋地域のユネスコ世界遺産条約締結国である40カ国を対象に文化遺産保護の理念と方法論の習得、遺物の調査・記録法並びに関連技術の習得、遺物の展示とその保管・管理等博物館業務に関わる技術の習得を目的に実施しました。

9月2日から10月3日までの期間、奈良文化財研究所や奈良市埋蔵文化財センター・九州国立博物館・九州歴史資料館などの研究機関や平城京跡・法隆寺などを訪れ、遺跡の調査や保存に関する技術とともに、遺物の調査例では、海中からの出土遺物がある鷹島が研修の場所として選定されました。

当日は参加各国の20代から40代の若い研究者が参加されました。モルデイブのアシユラフ・イスマイル青年スポーツ省遺産局国立博物館学芸員補佐は「モルデイブでも2年前から水中文化遺産の研究が行われている。保存処理の施設が見られて参考になった」、また、モルゴルのツェレンドルジ・ツオルモン文化・スポーツ観光省文化遺産センター有形遺産専門職は、「モルゴルと関係が深い鷹島のことから研修できてよかった。今後、学術交流が深まることを期待したい」と話していました。



▲ 研修会に参加した各国の研究者たち

鷹島海底遺跡で 2号沈没船発見！

●問合せ先 文化財課文化財係 ☎内線 356

琉球大学の研究チームは、9月19日から10月2日にかけて鷹島海底遺跡の調査を行い、船体構造が明確な沈没船の一部を発見しました。

調査の目的は、海底音波探査により海底に堆積する層の中にみられる反応物について、どのような特性を持つのか確認することです。6月に国指定史跡鷹島神崎遺跡周辺11海域の海底を音波探査し、そのデータを基に反応が見られた3海域9地点を対象として選定しました。

今回の調査では、音波探査の結果を確認すべく選定した9地点で金属棒による突き棒（貫入）調査を行い、石、貝殻、木などの感触を確認し、特に、木の感触があった2地点のうち1地点を試掘調査しました。その結果、国史跡鷹島神崎遺跡の指定範囲の東側約200m、水深14mの海底を約40～80cm掘り下げたところから、鷹島2号沈没船の一部が検出されました。



▲ 2号沈没船船首左舷外板

る右舷側の船体木材がおよそ10cm確認されており、船体の船首に近い構造と、船体の右舷及び左舷の一部、船内を仕切る隔壁などを観察できます。船首部分近くの隔壁材には船体の外板を重ねて打ち付けた状態が観察でき、これが右舷および左舷の外板材として連続して残存していることが推測されます。今回の沈没船の発見は、平成23年に発見された元の1号沈没船より残存状態が良好なため、船体構造の解明に結び付く貴重な資料になると期待されます。現段階では、沈没船の全体構造や大きさ、年代など蒙古襲来（元寇）との関連など詳細については未確認です。来年度以降の調査によって明らかにされることとなります。

来年度は琉球大学が実施する科学研究費補助金基盤研究（S）「水中考古学手法による元寇沈船の調査と研究」の最終年度となっており、これまでの貴重な成果をまとめられることとなっています。



▲ 2号沈没船南側船首

Japanes Drums - 太鼓 -



アンドリュー・マイケル
Andrew Mikesell
アメリカ出身

今年の4月に松浦龍王太鼓団に参加しました。去年、友達のブレンダン先生から太鼓をしていると聞いた時に僕もしたいと思いました。高校生の時、学校のバンドで打楽器を叩いたことがあります。和太鼓の叩き方は少し違います。太鼓団に入った時は初め少し緊張していましたが、皆とてもフレンドリーでいい人たちばかりだったのですぐに仲良くなりました。今月で参加5カ月目になり、とても楽しんでます。

今年の夏はとても楽しかったです。いろいろなイベントで太鼓を叩きました。一度、佐世保に近いお寺の前で太鼓を叩きました。重い太鼓を持って長い階段を登らなければなりませんでした。本当に楽しいイベントでした。最初、観客はあまりいませんでしたが、一曲目の途中ぐらいで観客がだんだん増えていきました。僕は日本の夏祭りがとても好きなので、このイベントは特別に楽しかったと思いました。

8月のお盆祭りでも太鼓を叩きました。今回、松浦龍王太鼓団だけではなく、志佐の子どもたちとも一緒に叩きました。松浦のお盆祭りで太鼓を見たことはありましたが、今年初めて参加してみてもとてもいい思い出になりました。この祭りが僕には一番日本的な体験だったと思います。妻と娘も見に来てくれて、うれしかったです。祭りの終わり際にチップトップの前で台車を止めて、たくさんの人に太鼓を体験してもらいました。太鼓団に入っていなくても、和太鼓を叩くチャンスがあったのは、とてもいいことだと思います。僕にとって和太鼓を叩くことはとても楽しいので、たくさんの人に和太鼓を叩いてみて楽しんで欲しいです。今年の夏は本当にいい思い出になり、絶対に忘れません。



▲娘に太鼓を見せました



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『マッサンとリタ』
川嶋康男 / 著 汐文社

ウイスキーの本場スコットランドへ、たった1人で乗り込んだ「日本ウイスキーの父」竹鶴政孝(マッサン)。彼の夢を支えるために日本にやってきたスコットランド人のリタ。厳しい時代を夢をあきらめずに生きぬいた夫婦の愛の物語です。



『窓から逃げた 100歳老人』
ヨナス・ヨナソン / 著 柳瀬尚紀 / 訳
西村書店

100歳の誕生日に老人ホームから逃走したアラン。ギャング団の金を奪ってしまうがどこ吹く風。爆弾つくりの専門家、数々の修羅場をくぐり抜けてきた過去をもつハチャメチャ老人が主人公の笑撃・爆弾コメディです。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



志佐町高野免の守山琴乃ちゃん (7歳)
と友梨ちゃん (5歳) と佳佑くん (2歳)
と葵ちゃん (10歳)

【お気に入りの本】

- 『ピヨピヨハッピーバースデー』 工藤ノリコ / 作・絵 佼成出版社
- 『あかりをけすと』 こばやしゆかこ / 作・絵 学研教育出版
- 『パーシーとチョコレート』 ウィルバート・オードリー / 原作 文平玲子 / 訳 ポプラ社
- 『おまじないは魔法の香水』 あんびるやすこ / 作・絵 ポプラ社

【お母さんからひとこと】

私自身幼少期から本が大好きで、これまでたくさんの本を読みました。中でも「かぎばあさん」シリーズが大好きで、何回も読んで覚えがあります。子どもたちも本が大好きで、月に2~3回図書館へ足を運んでいます。最近はお姉ちゃんたちが弟や妹に絵本を読んでくれるようになり、その姿をほほ笑ましく見えています。これからも、たくさん本を読んで成長してほしいと思います。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています!